

猪之鼻奨学会

猪之鼻奨学会報 第16号 題字 井出源四郎 (第八代千葉大学学長)

編集発行者

猪之鼻奨学会

千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号
〒260-8670 千葉大学医学部内
電話 043-226-2509 内線5024

創立 1915年(大正4年)

公益財団法人としての再出発

理事 服部孝道

私どもの猪之鼻奨学会は、本年4月1日より公益財団法人として千葉県から認可されました。これは平成20年12月1日施行の「公益法人制度改革関連法」に則り、関係者が文部科学省および千葉県庁の指導をおきながら、準備を進めてきた結果であります。大変面倒な仕事を長い間根気よく続けていただいた、事務担当の、牧田タツ様には心から御礼申し上げます。牧田様のご努力なしには、このように早く認可されることはなかったのではないかと、思っております。

今後、当財団の正式名称は、公益財団法人猪之鼻奨学会となり、これまでの資産と活動事業を引き継いで参ります。従来と変わったところは、研究助成および奨学金貸与の対象が、千葉大学の医学部および薬学部関係者だけでなく、千葉県

内の医学・薬学関係者に広がったこと、寄付行為に税制上の優遇措置が受けられるようになったことです。これまでたびたびお知らせしている如く、猪之鼻奨学会の基金に対する利子収入が激減しており、寄付金収入も減っているため、運用状況は厳しいものがあります。今後は、公益財団法人猪之鼻奨学会に寄付していただく場合には、その金額に対して税金が免除されます。皆様にはこのことを考慮していただき、ぜひ寄付をお願いいたします。

当財団は、大正天皇の即位を祝って創設されたものであり、これまで千葉大学医学部と薬学部の発展に少なからぬ貢献をしてきました。この伝統ある組織をさらに発展するために、皆様のご援助を切にお願いいたします。

公益財団法人化への期待と課題

理事 山本恵司

「歴史が動いた」と言われる時がありますが、猪之鼻奨学会が千葉県知事により公益財団法人として認め

られた2012年3月は、まさにその時であり大正4年(1915年)の創設以来の大きな変化の年にあたりと思えます。多くの財団・学協会が社会で積極的な役割を果たし、名誉ある地位を確立すべく法人化の課題にチャレンジしてまいりますが、その中でゴールにいたることの困難さを感じます。公益財団法人化に関係された諸先生のご努力に心より感謝申し上げます次第です。

以前の公益法人制度は明治29年に制定された古い制度で、主務官庁の許可によつて数多くの営利法人と似た法人が設立されてしまし、「天下りの受け皿にもなっている」「公益性の判断基準が不明確である」など多数の批判がありました。また、国の台所事情の悪さもあいまって、2008年から新しい法人制度が施行されました。財団法人に限定すれば「公益性」を有するか否かで、一般財団、公益財団に分けられ、その申請と認定が現行、全国で盛んに行われています。幸い本財団は事業目的、これまでの実績、運営方法などが高く評価された結果、社会的に高く信頼される公益財団法人として新たな出発を出来ることとなりました。

公益とは「国家または社会公共の利益、広く世人を益すること」と広辞苑にあります。今後、猪之鼻奨学会には主には学術及び科学技術の振興を目的とする事業への一層の取り組みが期待されます。大学、企業などではここ数年、社会貢献のキーワードが重視されていますが、猪之鼻奨学会にも前にも増してこの考え方が適用されると理解すると良いのでしょうか。

さて、わが国の財政状況は悪化の一途をたどっております。ギリシャでの騒ぎが対岸の火事でないことは頭では理解できても、消費税の増税や賃金の削減となると、とたんに反対になつてしまふ他人事のように振舞つてしまふのは社会が未成熟だからでしょうか。また、わが国では寄附や寄託の文化も発達しておらず、猪之鼻奨学会も多聞にもれず大変厳しい財政運営を強いられております。これからは千葉大学の発展も含めて、広く千葉県の医薬学領域の発展を期することになります。皆様のこれまでも増してのご支援を心よりお願い申し上げます。

ご寄付のお願いと寄付金の税額免除のお知らせ

猪之鼻奨学会は、大正4年(1915年)に創立されて以来、多くの方々からの善意の寄付金により奨学事業を実施してきております。

平成24年4月1日「公益財団法人」として、新たにスタートした猪之鼻奨学会は、「定款」に謳いますよう、医学及び薬学の研究を奨励することを目的として、研究業績の優秀な者に研究費の補助、そして学資の欠乏を告げた学生に学資の貸与を行ないます。これらの事業を遂行するために、どうか皆さまのご支援・ご協力を宜しく申し上げます。

一口5,000円ですが、ご都合により何口でも結構です。同封の郵便振替用紙にてお振込み下さい。

なお、「特定公益増進法人化にともなう寄付金の税額控除」に関しては、公益財団法人へ移行したことにより、本会が税制上の優遇措置の対象となる特定公益増進法人となりました。従って、個人によるご寄付の場合、所得の40%を上限として、ご寄付金額から2千円を差し引いた金額が、その年の課税所得から控除されます。法人によるご寄付の場合、一般の寄付金とは別枠で、特別損金算入限度額まで、損金の額に算入することが認められます。

今後とも、皆様方の一層のご指導ご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

公益財団法人猪之鼻奨学会 理事・評議員一同

高額寄付者御芳名録 (平成23年度)

- | | |
|-----------|---------------|
| 天野晋 | (医) 館山市 |
| 小屋佐久次 | (薬) 前橋市 |
| 七夕の会 | 薬学昭和53年卒業生有志 |
| 服部孝道 | (医) 同和会理事長 |
| 福島通夫 | (医) 東京都 |
| 葉友会 | 薬学部同窓会 |
| 袖ヶ浦さつき台病院 | (医) 理事長 矢田 洋三 |
| 渡辺和夫 | (薬) 前副会長 |
| るのほな同窓会 | 医学部同窓会 |
- (敬称略)

平成23年度事業報告

自平成23年4月1日至平成24年3月31日

財団法人 猪之鼻奨学会

1. 事業の状況

(1) 研究補助金(総額150万円)の助成 内訳 各50万円 3件

医学研究院 18名、薬学研究院 2名の応募者のうち下記の3名に交付されました。

Table with 4 columns: 交付研究者, 所属, 研究領域, 研究題目. Rows include researchers like 中村順一, 澤井 撰, 佐藤洋美 and their respective research topics.

(2) 奨学金の貸与 医学薬学府(医) 三浦 史織 30万円

(3) 薬草園の整備管理 10万円

(4) 猪之鼻奨学会会報の発行、12,800部発行

収支計算書

自平成23年4月1日至平成24年3月31日

1. 収入の部

2. 支出の部

(単位:円)

Main financial statement table with columns for 勘定科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. It details income from basic assets and expenses for research and management.

編集後記
本会報は、年一回の発行ですが、医・薬分野における学生への奨学金貸与と研究者への研究助成という主たる活動に関する情報紙です。また、亥之鼻奨学会への寄金というご厚情に込めるべく、事業内容が深くご理解いただけるように、会の現状を余すことなく提示する貴重な道具です。丁寧な情報開示こそ、本会報の本命です。
ただし、猪之鼻奨学会の公益財団化に伴い、支援すべき地域の範囲が千葉県全域へと広域化しましたので、本会報の有り様は、今一度熟考される時でもあります。猪之鼻奨学会の進化に、新しい展開方法がなされる必要もあります。本会報に関する皆様のお知恵を猪之鼻奨学会事務局へお寄せ下さい。
(代表理事 鈴木 信夫)

財団法人猪之鼻奨学会募金結果報告

千葉大学医学部・薬学部同窓会員

および関係者各位 殿

平素より財団法人猪之鼻奨学会の事業につきましては、多くの方々の深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

平成二十三年度に実施されました募金は、下記のように、大勢のご賛同とご協力が得られました。ここに報告させていただきます。

ご寄付いただきました金員は、猪鼻奨学会の事業費として有効に活用させていただきましたと思います。お蔭様を持ちまして平成二十三年度における助成件数は4件で、総額180万円により奨学金と研究助成金を交付することができました。

今後も、皆様方の暖かいご支援とご指導をいただきながら当奨学会の発展に理事・評議員共に更なる努力を重ねる所存です。ここに深甚なる謝意を表するとともに、皆様方のご健勝とご発展を祈念申し上げます。

記

募金件数 八十七件
募金総額 一、三一九、〇〇〇円

平成二十四年五月一日

公益財団法人猪之鼻奨学会
理事・評議員一同

幸部吉郎	小林欣夫	岸本充	許奎璋	菊池周一	菊池義公	加藤友衛	柏戸正英	神山英明	鏡味勝	興村義孝	小熊英夫	大淵徹	太田真	小野寺美津雄	岡本和久	大原一夫	奥田桂子	泉川ツヤ子	石井宏明	石川達雄	五十嵐正喜	石川哲大	天野晋	麻生誠二郎	赤股清	阿部又一郎	安藤富美子	朝倉忠孝	有賀直文	
兵庫県	千葉県医学研究院	千葉県医学研究院	栃木県	千葉県	所沢市	市川市	千葉県	東京都	茨城県	千葉県	東京都	横浜市	栃木県	神奈川県	東京都	横須賀市	千葉県	千葉県	沖縄県	つくば市	千葉県	佐倉市	千葉県	館山市	東京都	東京都	東京都	埼玉県	東京都	佐倉市

萩巢敏子	林雅意	橋本英明	服部孝道	野積邦義	根本幸一	西島浩	二村静子	中野練一	難波清	奈良林定	中村常太郎	中村裕	中村和郎	遠山寅雄	津村澄雄	瀧口正樹	玉野井章子	仙波恒雄	鈴木弓	諏訪園靖	鈴木良一	砂田莊一	獅子原正樹	下山恭平	嶋田俊恒	清水精子	島崎淳	斉藤幸洋	小屋佐久次
船橋市	千葉県	東京都	千葉県	船橋市	群馬県	千葉県	静岡県	市原市	宮崎県	深谷市	千葉県	柏市	千葉県	市原市	船橋市	千葉県医学研究院	船橋市	船橋市	高崎市	千葉県医学研究院	市川市	千葉県	東京都	八千代市	千葉県	千葉県	千葉県	長野県	前橋市

若新洋子	若新政史	渡辺武	吉原寛	吉崎光彦	横山宏	山野元	山本強	矢田洋三	薮田光紀	山田八郎	山本日出樹	本橋新一郎	水鳥川俊夫	嶺井進	松岡茂	堀江武	古川斎	布施吉弘	深尾立	福島通夫	藤本重義	深山敏江	古木新	広沢通孝	平山守	
千葉県	千葉県	船橋市	広島市	松戸市	甲府市	習志野市	岡山市	袖ヶ浦市	横須賀市	新潟県	愛媛県	千葉県医学研究院	茂原市	沖縄県	柏市	千葉県	千葉県	千葉県	千葉県	つくば市	東京都	横浜市	東京都	香取市	東京都	千葉県

二十四年三月三十一日現在
総合計 八十六名 一、三一九、〇〇〇円